

平成31年度学校評価報告書

令和2年3月26日

北海道南幌高等学校長

1 本年度の重点目標

- 1 将来の展望に立ち、自ら学ぶ意欲と態度を養い学力の向上を目指す。
- 2 特別活動や生徒会活動及びボランティア活動を充実させ、協調性や社会性を養うとともに他を思いやる心豊かな人間性の育成を目指す。
- 3 保護者や地域との連携を強化し、開かれた教育課程の実践を目指す。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・授業改善に向けた校内研修会や公開授業週間及び学習評価の工夫改善により、生徒の学習意欲の向上につながするなど成果があった。 ・年度初めの学び直しなどの丁寧な指導により生徒の学習意欲が、入学時より向上してきている。	・一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな指導により、生徒の学習意欲の向上がアンケートから分かる。 ・少人数ならではの環境を生かした更なるきめ細かな指導をお願いしたい。
改善方策	(1) 自ら学ぶ学習意欲の喚起を促す指導及び学び直しなど、生徒一人ひとりに応じた学習指導の取組 (2) 主体的で対話的な深い学びの実戦に向けてA L を効果的に活用するなどの積極的な授業改善の取組。	
生徒指導	・自閉症や心の悩みを抱えている生徒が多い状況に於いて、生徒の情報を共有しながら個に応じた教育相談体制が構築されるなど、特別支援教育が充実してきた。 ・地域との連携を強化した生徒による生徒会活動の充実が図られ、開かれた教育課程の実践に繋がっている。	・少人数の環境を生かして、ボランティア活動などで地域との連携が図られる指導をお願いしたい。 ・学校祭の行事など、地域や保護者などと連携して寂しい思いをさせないような取組を推進して欲しい。
改善方策	(1) 校内だけの教育活動にとどまらず、地域と連携・工夫した学校行事やボランティア活動の実施。 (2) 生徒理解に向けた面談や相談の充実を図り、教職員が一致した指導の実践。	
進路指導	・早めの計画的な進路指導により、生徒の進路実現に向かう意欲の向上が図られ、その成果が明確に表れた。 ・様々な進路に係る行事の取組や個に応じたきめ細かな指導により、生徒や保護者から満足得られる進路実績を残すことができた。	・一人ひとりに応じたきめ細かな進路指導により、全員が早い段階で進路決定がなされたことは、指導の賜である。 ・今年の成果を次年度の下級生への指導に生かして欲しい。
改善方策	(1) 進路相談や面接・小論文の指導及び進学講習等において、計画的で系統立った指導の組織的な実践。 (2) 保護者と連携した生徒の進路希望に沿ったきめ細かい指導と必要に応じた十分な情報提供。	
学校運営	・学校教育活動を定期的かつタイムリーに学校だより『南高不落』の配布やHPをとおして広く広報することができた。 ・PTAや地域と連携した行事等の実施により、学校と保護者や地域との相互理解が更に図られ、スムーズな学校運営ができた。	・これまで以上に地域の協力を得ながら、地域の中の学校として更に教育活動を推進して欲しい。 ・生徒数の減少による少人数を逆手にとったきめ細かな指導と地域との協力した教育活動を展開してもらいたい。
改善方策	(1) 地域に開かれた教育課程を目ざし、地域を活用した地域包括的な学校運営の実践。 (2) 保護者や地域とスクラムを組んだ体験的、経験的な教育活動によるふるさとキャリア教育の推進。	
公表方法	(1) 学校HPに掲載。 (2) 学校だより「南高不落」に掲載し、保護者・地域に配付。 (3) PTA役員会、PTA総会、学校評議員会などで報告。	